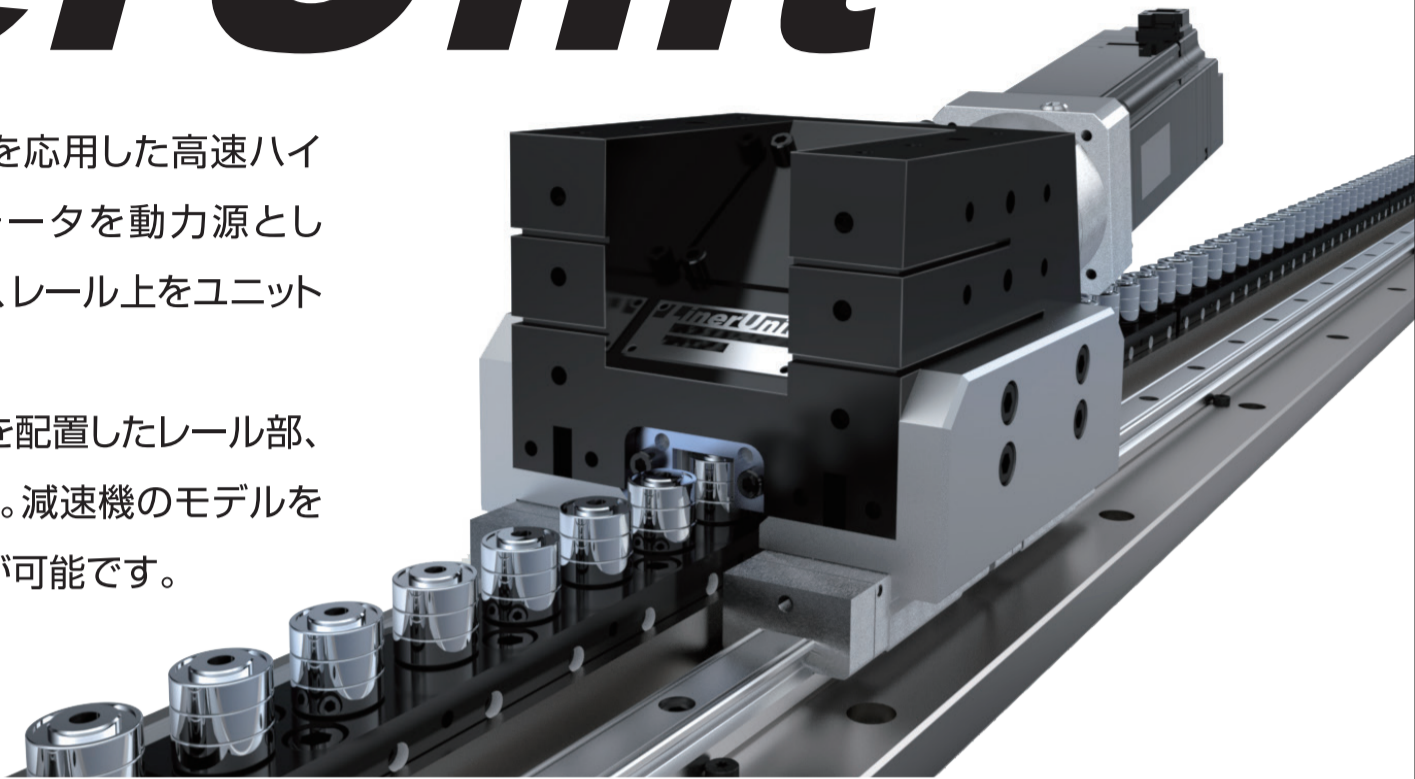


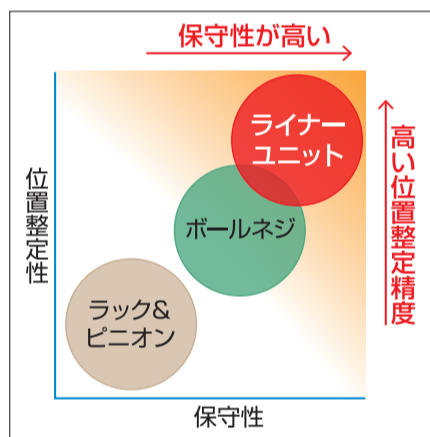
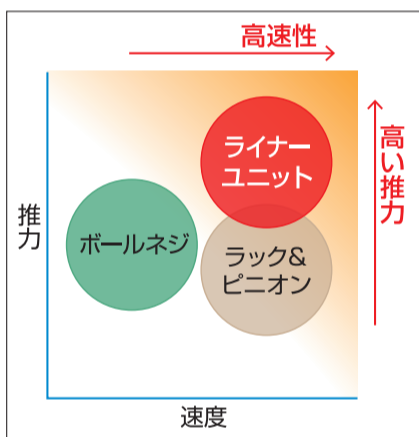
直進駆動装置 LinerUnit

ライナーユニットはローラギヤカム機構を応用した高速ハイパワーな直進駆動装置です。サーボモータを動力源とし、スクリー形状のカムを回転させることで、レール上をユニットが直進移動。

スクリーを内蔵したライナー部、ローラを配置したレール部、減速機及びサーボモータで構成されます。減速機のモデルを変更することで各社サーボモータの使用が可能です。



性能比較

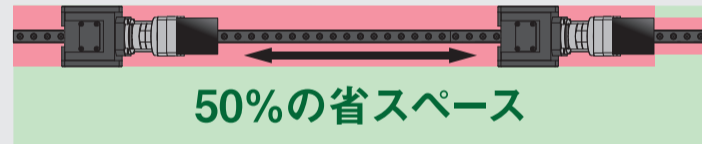


最大で50%の省スペース化

駆動源をレールと一直線上に配置するので他機構に比べ最大で約50%の省スペース化が図れます。

デッドスペース

ライナーユニット



他機構



高速性・ハイパワー

3.5秒で300kgの重量物を4m搬送*。毎分200m以上の高速走行が可能で、移動時間を大幅に短縮できます。スクリーの回転は進行方向に対して垂直のため、加減速特性に優れており、急停止時の残留振動が小さく、システムのサイクルタイム短縮が可能です。*モータ容量0.75kw

搬送重量別移動時間 (CS30)

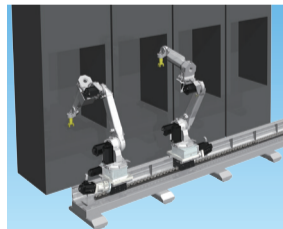
搬送重量	移動時間		
	1m	2m	4m
100kg	1.0sec	2.0sec	3.5sec
200kg	1.3sec	2.0sec	3.5sec
300kg	1.5sec	2.3sec	3.5sec

*積載荷重はカタログP5の仕様表を参照してください。

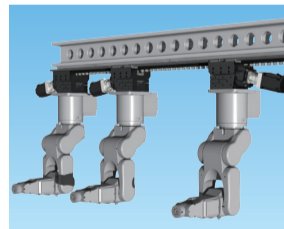
ロングストローク

ボールねじのたわみにより発生する縄跳び現象やその対策であるレールの中間支持などの問題を、駆動源と一体の走行ユニットが走行する構造にすることで解消し、レールを連結するだけで10m以上(理論上制限なし)のロングストロークが可能です。

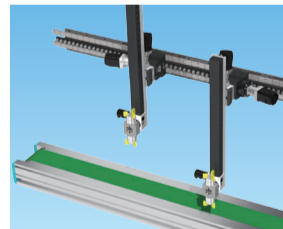
アプリケーション



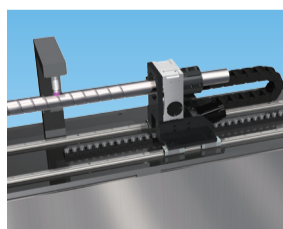
ワーク搬送



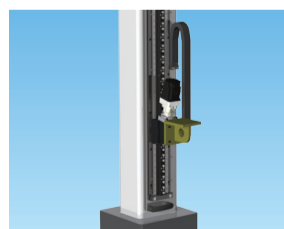
ロボット吊り下げ搬送



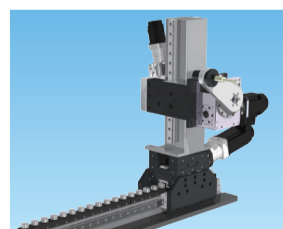
ガントリローダ



X-θポジション(レーザ加工機)



昇降装置



XY-θポジション